

# RF ジュニア柔術 長野県特別ルール

## □試合概要

- ・試合時間は小学生以下 1 分 30 秒、中学生 2 分
- ・道着は空手着、柔術着、柔道着、着用可。
- ・5 級以下は立膝から（片足は立てて良い）、4 級以上は立位から試合を開始する。
- ・抑え込みは 3 秒でポイントとなる。
- ・抑え込みやガードポジションなどでポイント取得後に膠着状態に陥った際は、審判が「アクション」をコールし、次の展開を施す。（膠着を作らない）  
2 回の審判の「アクション」コールの後も膠着状態が続いた場合は「待て」のコールのち、5 級以下は立ち膝、4 級以上は立位から試合を再開する。
- ・このルールではポイント上限がなく、ポイントも上記の動きがあり続ける限りに加算していく。

## □ポイント詳細

### 2 ポイント

- ・リバースマウント、バックコントロール

### 1 ポイント

- ・テイクダウン  
（立ち膝からの崩し、タックル、投げなど相手を倒す技全て）
- ・リバースマウント、バックコントロール以外の抑え込み  
（サイド（横四方）、マウント（縦四方）、上四方、袈裟、ニーオンザベリー）
- ・リバーサル 下の人間が技を使用し、上下を入れ替えること
- ・エスケープ 抑え込まれてポイントを取られた状態からガードポジションに戻す、又は立ち上がる。立ち膝に戻る。バックコントロールされた状態から相手に向き直る
- ・パスガード パスして 3 秒抑え込むことで成立  
（同時に抑え込みポイントも加算される）パスのみではポイントにならない。

## □反則技

- ・すべての打撃技
- ・すべての関節技・絞め技
- ・上から相手の首に、体重をかけて肘・前腕を相手に押し付ける行為
- ・手のひらを相手の口に当てる行為
- ・帯の先端をつかむ行為
- ・その他非道徳的な行為